

ストリング／サイト位置について

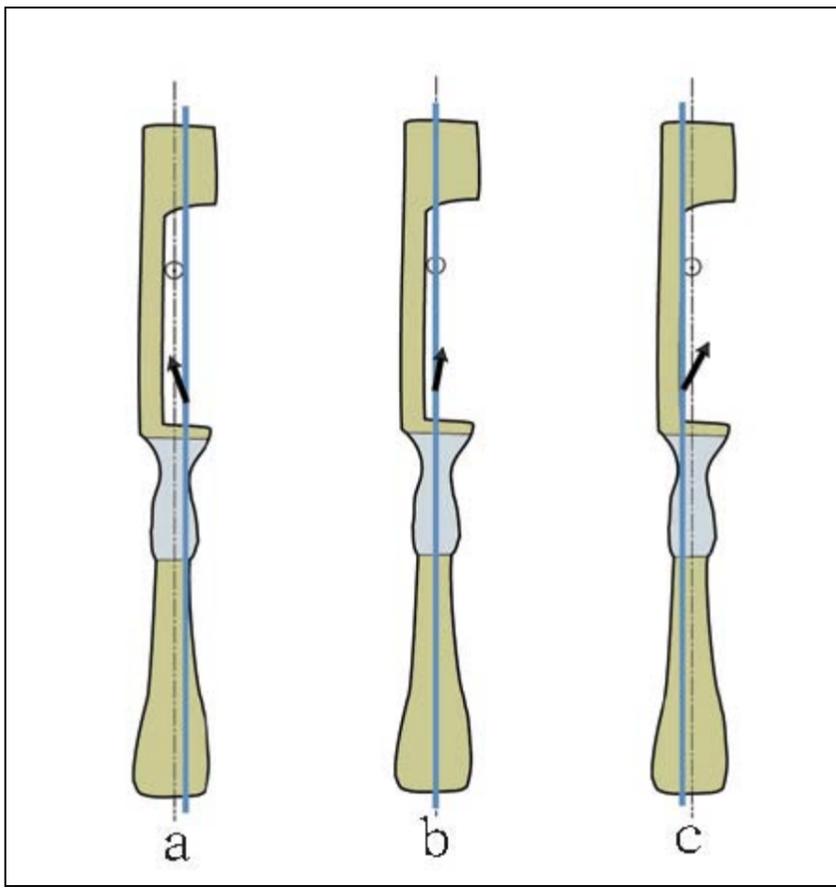
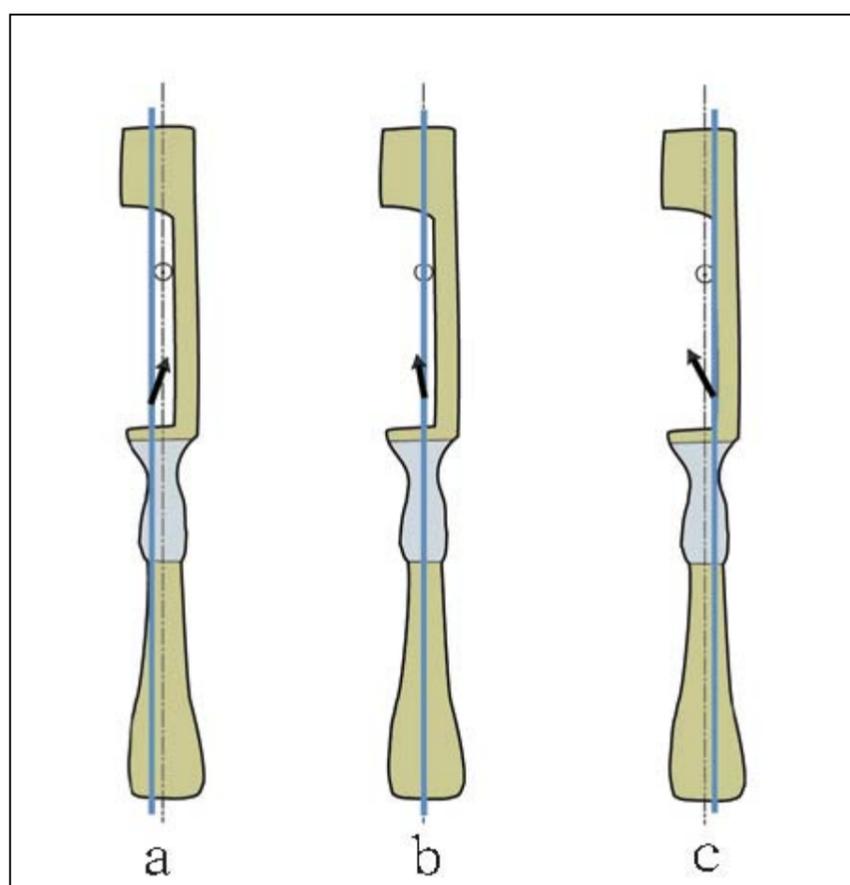
よその掲示板で、質問があったストリング／サイト位置の問題について図示します。

aは日本人に多いタイプでサイトピンをストリングの右においてエイミングするパターンです。

bはサイトピンとストリングを重ねた場合、cはサイトピンを左においた場合を示しています。
青い線はストリング、黒の矢印はアローの方向と考えてください。

右利きの場合

左利きの場合



a:アローは右を向いています。
b:アローはチューニングのアローアラインメントの方向を向いていません。
c:アローは左を向いています。

a:アローは左を向いています。
b:アローはチューニングのアローアラインメントの方向を向いています。
c:アローは右を向いています。

当然矢印が向いている方向にアローは飛んでゆこうとしますが、もし、この分をプランジャーのスプリングテンションだけで補正しようとする、左右を問わずaの場合にはテンションを強く、cの場合には柔らかくしなければなりません。

良く、プランジャーの固さの理想について質問されるのですがaのタイプのアーチャーは固く、cの場合には柔らかかなりやすいのは当然です。

ここで、誤解のないように説明しておきますが、私はグルーピングの左右の調整をプランジャーのスプリングテンションであることを薦めていたわけではありません。

プランジャーは左右のヒット位置を調整する道具ではなく、パラドックスの発生量を変化させて、グルーピングをコントロールするためのツールと考えています。

プランジャーのスプリングテンションはヒット位置の左右にかかわらず最もグルーピングがタイトになる位置をベストと考えています。もし、その位置が右か左にずれているならサイトピンの左右で調整すれば良いと考えています。

2004.9.19

この記事は資料性が高いのでTOPページの独り言より移植しました。